



ちょっとディープなドライブを!

旅ドラ 2022

文・写真：松沼 猛

せっかく落ち着いた新型コロナウイルス感染症も、第6波がきそうとちょっと心配な今日この頃。そこで今年も密になりにくいディープなドライビングスポットをご紹介します。

SCENE
I

北海道 南富良野町

まるでフィクションのような世界



列車が来なくなって5年以上放置されている根室本線落合駅。現実とは思えないほど草に覆われて、レールはちょっとしか見えない。初夏には色とりどりの花が咲き乱れて、より一層非現実的な光景になる。

幾寅駅も落合駅と同様に5年以上列車は来ていないが、市街地にあるためか整備が行き届いていて、廃墟感はない。



落合駅の隣にある幾寅駅は、映画「鉄道員(ぽっぽや)」の舞台となった駅。駅前には商店のセットが残され、ロケに使用した車両も保存されている。



幾寅駅の駅舎内は「鉄道員(ぽっぽや)」のロケ記念展示コーナーとなっていて、列車は来なくなったものの、自由に立ち入ることができる。

現実離れた風景が
北海道の山里に展開

草に覆われた廃墟のような駅。実は現役の根室本線落合駅なのだが、2016年に発生した台風10号の影響で落合駅周辺の線路が被災して不通となったまま。落合駅も5年以上も放置された結果、こんな姿になってしまった。季節によっては花が咲き誇り、より一層幻想的になる。駅構内は立ち入り禁止だが、構内の外れにある歩道橋から幻想的な光景を見ることが出来る。

現在根室本線で不通となっている区間は東鹿越駅から石勝線と合流する区間まで。この区間には落合駅のほかに幾寅駅がある。幾寅駅は1999年に上映された高倉健主演の映画「鉄道員(ぽっぽや)」の舞台である幌舞駅のロケ地。駅舎は映画のロケ用に改装し、現在も小道具などを展示している。

駅前にはセットや撮影に使用された車両も展示されている。ちなみに「鉄道員(ぽっぽや)」は2020年に亡くなった志村けんさんが初めて出演した映画。観光地の富良野から車で1時間程度なので、富良野・美瑛観光のついでにいかが?